

中学校歯科保健プログラムダイジェスト

- 中学校3年間を通じて生徒が主体的に参加し企画・実施・評価まで行うことができるヘルスプロモーションプログラムです。

各学年の目標

1学年の目標

1. 自分とみんなの健康観や保健行動の違いを知り、興味を持つ
2. 歯肉炎を自分たちの健康課題だと認識し、解決する方法を知る

2学年の目標

健康課題や保健行動に対する目標をみんなを立て、工夫・実践する

3学年の目標

達成度を評価する

プログラム内容

1年生

生徒たちが事前準備を行う健康教育授業

2年生

歯科健診時にPMA調査

歯肉炎目標値設定
・PMA平均 11.7 を 6.2 に減らす

ライフスタイル目標値設定

歯肉炎改善プロジェクト企画・実施

ライフスタイル目標値評価

3年生

歯科健診時にPMA調査

PMA平均の結果を保健委員がクラスにて報告

保健委員を中心とした生徒たち自身が、歯肉炎の目標値を設定し、ライフスタイルを改善するための学校で行えるプロジェクトを企画し、実施、評価までを自分たちで行なう。

2年生プロジェクト年間計画

	3月	6月	7月	9月	11月	1月	2月	3月
実施内容	年間スケジュール打ち合わせ	歯科保健協議会1 PMA調査 歯科健診（校医）	歯科保健協議会2 授業	歯科保健協議会3	歯科保健協議会4	歯肉炎月間開始	歯科保健協議会5 歯肉炎月間終了	歯科保健協議会6 ホームルーム・学活
物配布・回収	歯肉炎事前アンケート 配布・回収	健康課題PMA目標値 ・保健行動選択し目標値決定	保健委員は各クラスに歯科保健協議会1の内容を伝える 選んだ保健行動の目標値を達成させるためのアイデアを考え てもらう	アイデアの中から、実施しやす く効果が高いものを保健委員 が選ぶ。活動計画カードを作成。	活動計画が実施可能か確認	活動計画カードの完成	活動実施状況の評価	歯肉炎事後アンケート 配布・回収 保健行動目標評価 集計結果をクラスにて発表 歯肉炎月間の感想のアンケート 配布・回収
集計担当	養護教諭・校医 (PMA) 保健委員 (アンケート)						保健委員 (アンケート)	養護教諭・校医 (アンケート)

生徒みんなを考えて、保健委員を中心に計画を実施します

3学年の目標

達成度を評価する

評価とは、健康課題の目標値と結果を量的に比べることで、その結果の価値と意味を考えること。

自分たちにとってどういうものであったのかを感じる

目標まで達成はできていなかったけど、2年生の時より大分減っていたから、みんなちゃんと意識したんだと思いました。これからも健康にしていきたいです。



2年生の時より歯肉炎の人が減って11.7点から6.5点になったので歯肉炎大作戦は成功したのではないかと思います。歯について色々なことが知れたり、普段は歯についてそこまで考えたりないけど、考えたりすることができて楽しかったです。

継続したプログラムを通じて

- プログラムを通じて、生徒の主体的な参加が得られています。
- 生徒だけでなく、家庭や担任、学校管理職の協力が得られています。
- 養護教諭の交代、学校管理職の交代もあったが、5年以上継続実施されています。
- 量的・質的調査からもプログラムの有効性が示唆されています。
- 文化祭・クラブ活動・全校集会での様々な取り組みに発展し、学校全体の取り組みに広がっています。